

ASK ニュース

Vol.0223

2016年10月11日(火)

担当：MS事業部 北野

〒460-0002

名古屋市中区丸の内 3-22-21

損保ジャパン日本興亜名古屋ビル 1F

ASK 税理士法人

TEL 052-971-1122 FAX 052-971-4488

ワークライフバランス

はじめに

安倍政権が掲げる「働き方改革」で女性の活躍を後押しするために必要とされている「ワークライフバランス」について、今回のASKニュースで取り上げたいと思います。

ワークライフバランスとは

日本語では「仕事と生活の調和」と言い、その名の通り仕事の時間と生活（家庭）の時間とをバランス良くし、仕事と生活の両立がしやすくなる制度のことです。仕事の成果を高めながら、長時間労働の抑制や柔軟な働き方の拡大、年次有給休暇の取得促進、育児休業・介護休業の活用ができる会社・社会にしていくことです。

企業へのメリット その1

ワークライフバランスの取り組みをすることは、優秀な人材の確保、従業員の定着率の向上につながります。なぜなら、労働者に次のような意識があるからです。

一般社団法人日本マーケティングリサーチ協会が行った仕事選びに関するアンケート調査で「あなたが実際に働く上で・働く中で重視することはどういったことですか」（2択問題）の設問に対して次のような結果が出ました。

- ①仕事の遣り甲斐 < プライベートな時間
- ②突然の残業 < プライベートな約束

③仕事・接待 < 家族の行事

この結果から、労働者はプライベートを大切にしたいと思っている傾向が出ています。

企業へのメリット その2

ワークライフバランスに取り組む為には、労働時間の削減が必須で、業務の見直しを行わなければなりません。業務の棚卸しを行い、効率化・平準化に取り組みます。誰でも一定レベルの仕事ができる仕組みを作ると、誰か一人への負荷が減ります。そのため、会社全体の残業が減り、休暇も取りやすくなります。また、平準化できれば、会社とし迅速な対応ができるようになり、対外的な評価も上がることでしょう。

おわりに

ワークライフバランスを推し進めるためには、経営者の強い意志が必要です。業務の効率化を進める時に、慣れ親しんだ方法から変化することを嫌がる従業員は、抵抗することもあることでしょう。

しかし、労働人口の減少に伴い優秀な人材の確保は企業存続に取って不可欠なこれからの課題です。ワークライフバランスを他社に先駆けて取り組み、優秀な人材の確保をしましょう。